

平成 24 年度 第 11 回三重県行財政改革推進本部 概要

- 1 開催日時：平成 24 年 12 月 18 日（火）9:00～9:10
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題 1：「M I E 職員力 アワード」の応募状況について

【森行財政改革推進課長】（資料 1 に基づき説明）

12 月 26 日が期限となっているので、積極的な応募及びお声掛けをお願いしたい。

（特に質疑なし）

議題 2：幸福実感日本一（政策）職員提案にかかる応募提案・選考結果について

【森行財政改革推進課長】（資料 2 に基づき説明）

応募提案数 72 提案のうち、採用 5 提案、部分採用が 51 提案等で、提案者に対しては既にフィードバック済である。

今後は、結果を踏まえて、必要に応じ職員力公募制度により職員公募を行う。また、次年度以降、成果を見たうえで「M I E 職員力アワード」で表彰していきたい。

【藤本地域連携部長】

電子決裁システムの活用をお願いしたい。全庁的な活用率は数%である。地域連携部で 9 月から試行したところ現在 50%を超えており、県民センターへも展開している。付属書類がつく場合なども紙と電子決裁を併用できるので、是非各部局でも電子決裁システムを使っていたきたい。

【鈴木知事】

なぜ進まないのか。

【藤本地域連携部長】

面倒であるというのと、簡易決裁が多いためである。

他県も導入しているが、全国的に活用率は低い。使ってみればうまくいくのだが、最初なかなか慣れずに結局スタートを切れていない状況のようである。

【鈴木知事】

検討は必要だが、知事決裁は全て電子決裁にするなどもある。ただ公共工事の決裁など紙資料が多いものは大変そうだが。

【藤本地域連携部長】

文書登録は電子決裁で行い、付属書類は別途紙で回す方法もある。

【鈴木知事】

現在数%の活用率を 50%にするだけでも違うので、少し考えてみる。